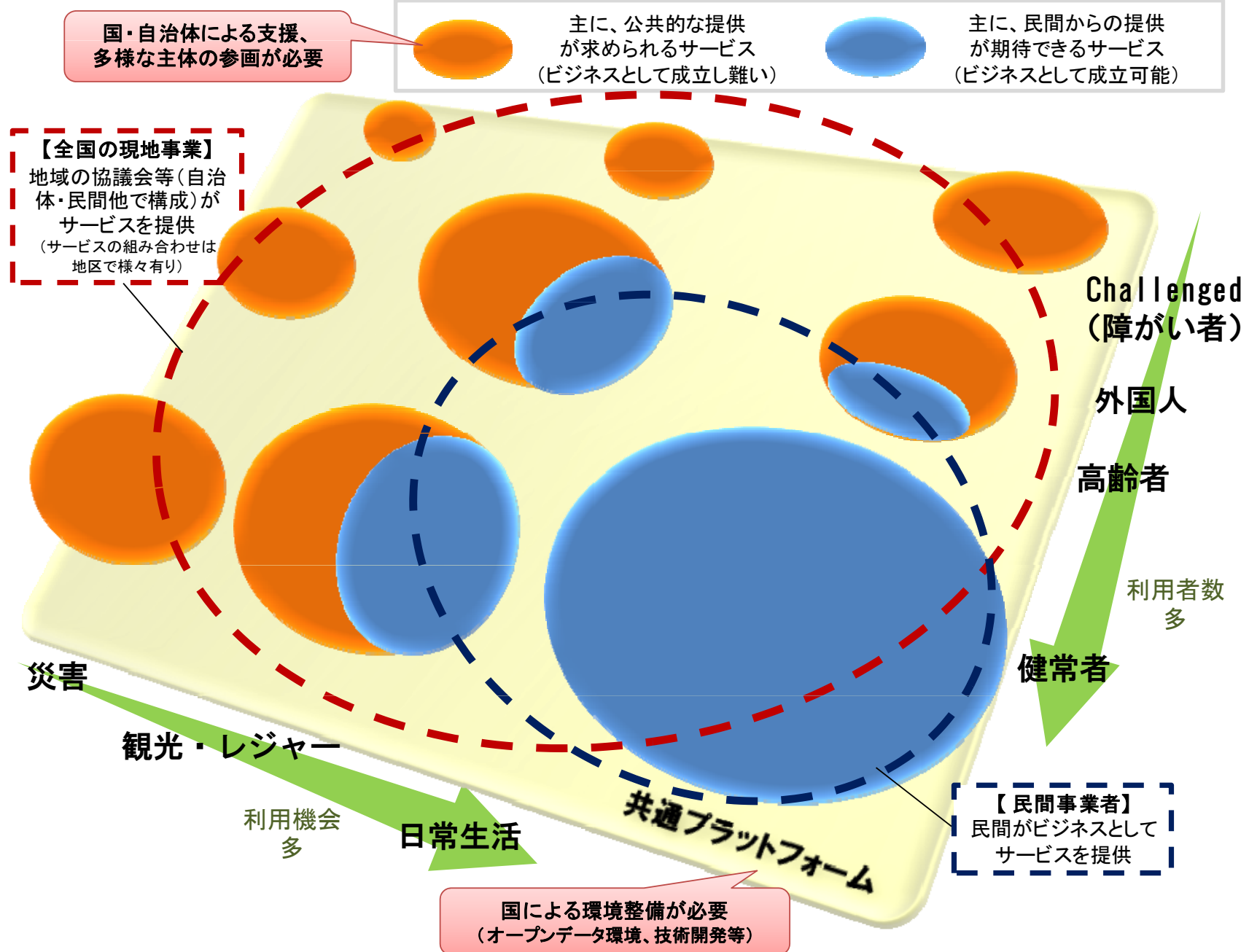
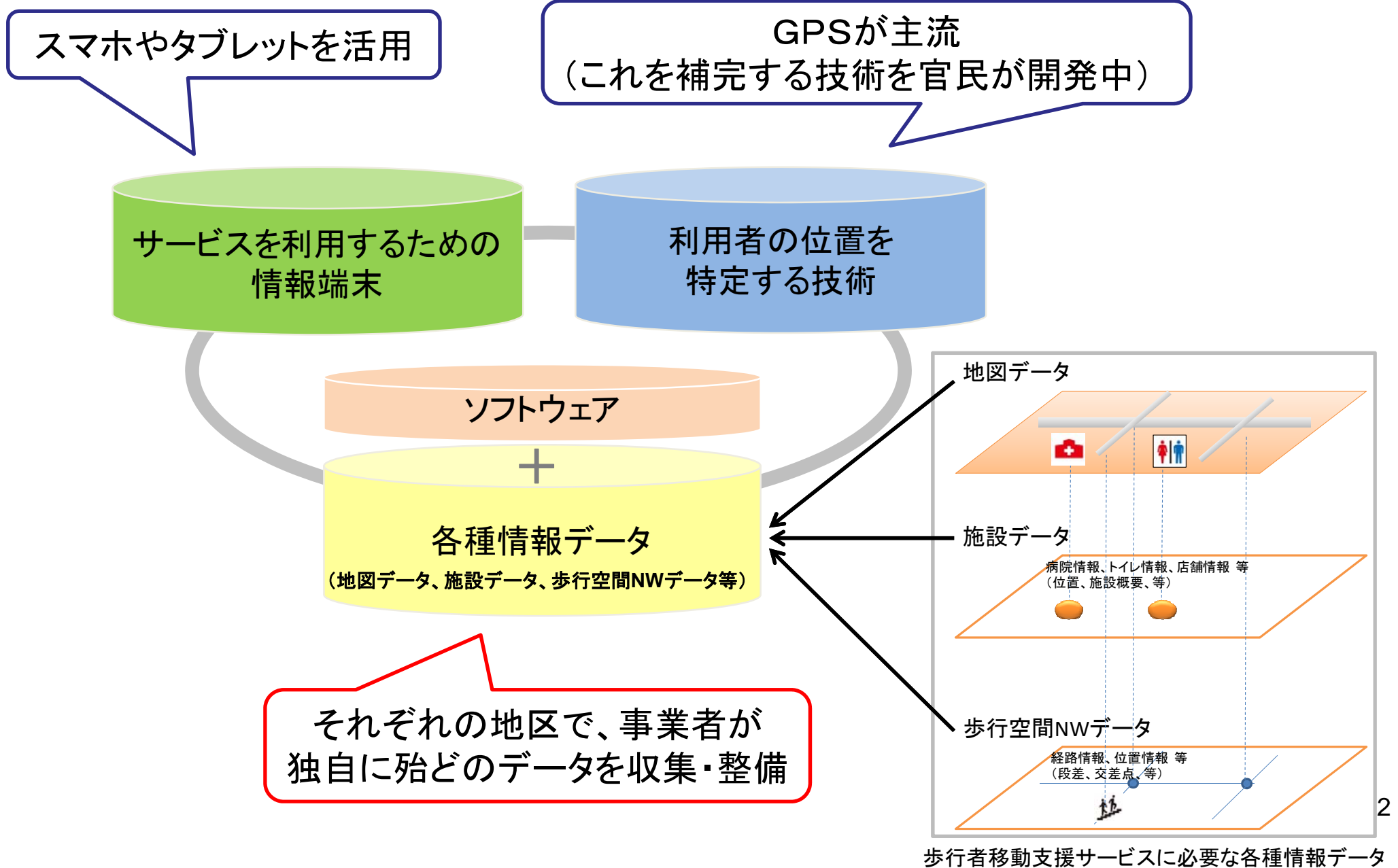


# 第一回資料抜粋

# 歩行者移動支援サービスの役割分担のイメージ



# 歩行者移動支援サービスの仕組みと現地事業の状況



## 今後の方向性(案)

- 歩行者移動支援に必要なデータを、適切な役割分担の下に、オープンデータ環境で整備。
- 技術資料の提供や技術開発、制度設計などにより、普及を支援。



- サービス提供コストの縮減。
- 情報の量(種類)と質(鮮度、信頼性)の向上。



- 利用者のニーズに合致した多様なサービスを、様々な主体が提供。

# 歩行者移動支援の普及促進に向けて検討すべき事項（論点）

## ■ データに関して

- 様々なサービスを展開するためにはどのようなデータが必要か。  
（共通的に必要なデータ、サービス毎に必要なデータ）
- 容易に二次利用を可能とするためには、どのような形式で公開されることが望ましいか。

## ■ 利用ルールに関して

- データの二次利用を容易に可能とするためには、どのようなルールが必要か。

例えば）責任の所在、著作権、CCライセンス、民間データの取り扱い、等

## ■ 役割分担に関して

- オープンデータ環境の構築や運営には、どのような仕組みと役割分担が望ましいか。
- サービス提供にあたっては、どのような役割分担が望ましいか。

例えば）費用負担、データホルダーの参画の仕組み、ユーザーの参画の是非、等

## ■ 支援策に関して

- オープンデータ環境の構築や運営に対してどのような支援が必要か。
- 歩行者移動支援サービスの全国的な普及促進を図るためには、各サービス提供者に対してどのような支援が必要か。

例えば）ガイドライン、技術開発、等